

平成 30 年度 成人式式辞

新年明けましておめでとうございます。

平成 31 年の新春を迎え、本日ここに「高森町成人式」を挙げるに当たり、式辞を述べます。

ご来賓の皆さま方、恩師の先生方には、大変寒い中、そして公私ともご多用のところをご臨席いただきまして誠にありがとうございました。

厚く御礼を申し上げます。

新成人の皆さん、「成人」おめでとうございます。

本日晴れて成人式を迎えられました 169 名（男性 94 名、女性 75 名）の皆さん、皆さんを今日まで愛情深く育てて来られました、ご両親をはじめご家族の皆さまに心からお祝いを申し上げます。

また、これまで、温かく見守っていただきました恩師の先生方、地域の方々にも感謝と敬意の念を表します。大変ありがとうございました。

さて、新成人の皆さん、本日晴れて一人の大人として迎えられたということは、皆さん一人ひとりに「自由と責任」ができたということです。自分自身の意思で行動ができる「自由」とその行動に「責任」を持つということは、簡単なようで厳しいことです。

これからの人生全てにおいて、自分で挑戦し、自分で決断し、失敗しても自分で這い上がり、自分自身で幸せをつかまなければなりません。

その事は、時には、皆さんにとって辛いことかもしれませんが、それ以上に希望があり、多くの皆さんに期待されているという事を、今日の成人式で新たに持っていたきたいと思います。

ここにいる若い皆さんが、私たちには出来なかったことに挑戦し、新しい価値を創造できなければ、社会は発展しません。つまり、皆さんは、私たちの世代に発明できなかったものを発明し、私たちの世代に救えなかった人を救い、私たちの世代が実現できなかった夢を実現する人たちです。

新成人の皆さんの若さと今後に対し、町全体が熱い期待を寄せ、温かく見守っていて下さることを忘れないで下さい。

一方、皆さんの中には、既に社会人として活躍されている方、学生として将来を考えている方がいらっしゃいます。ご存じのとおり、有効求人倍率は高い水準を示し、

現在は、皆さんが職業を選択できる時代になりました。皆さんの中には、この地域で頑張っている方もいれば、この先、高森から東京など、他の場所に移って活躍する方もいらっしゃるでしょう。もしかすると、世界に羽ばたく方もいるかもしれません。もちろん、高森で育まれた才能が、さらに広い世界に挑戦することを、心から応援したいと思っています。

しかし、高森町も人口減少、少子高齢化時代が到来してきています。

ここで、今日は、皆さんに、一つお願いがあります。

これから先、家庭を持って、子どもを育てようという時、もしよければ、高森町に戻ってきていただきたい。これが、私から皆さんへのお願いです。

「どこに住もうか」「どこで子どもを育てようか」と思った時、皆さんが育った高森町のことを思いだしてほしいのです。

高森町では、昨年5月5日こどもの日に、女性活躍子ども子育て拠点施設「あったかテラス」が完成しました。この拠点施設の完成により、楽しく子育てができ、また、幼児期の子ども達の健やかな成長を、各方面の専門的知識をもった多くのスタッフが支え、今まで以上に充実した子育て環境が整ってきました。

このように、私は、この町が、子どもや若者の皆さんへの敬意に溢れ、逞しい子どもが育つまちづくりをしていこうと思っています。

先ほども申したとおり、皆さんは、私たちの世代に発明できなかったものを発明し、私たちの世代に救えなかった人を救い、私たちの世代が実現できなかった夢を実現する人たちです。

そして、皆さんの子どもたちは、皆さんに発明できなかったものを発明し、皆さんに救えなかった人を救い、皆さんが実現できなかった夢を実現する人たちです。

私は、他のどの町よりも、皆さんの子ども達が逞しく育つのにふさわしいまちづくりを目指していきますので、ぜひ将来、この高森町での子育ても考えていただきたいと思っています。

結びに、本日の成人式を行うにあたり、今年の夏からご尽力をいただきました、新成人自らで構成された実行委員会の皆さん、式の企画、運営のお手伝いをいただきました公民館の皆さまに厚く御礼を申し上げますと共に、新成人の皆さんを始め、お集まりの皆さま方の一層のご活躍とご多幸を祈念し、併せて、新たに迎えました平成31年が良き年となりますようお祈りし申し上げ、式辞といたします。

本日は誠にめでとうございます。

平成31年1月3日 高森町長 壬生 照玄